

# たきこみごはん

全国福祉保育労働組合  
東海地方本部 障害協議会NEWS  
2006. 11. 16  
Vol. 1

出直してよ! 「障害者自立支援法」10.31大フォーラムに参加して

【参加した組合員からの報告です。】

「障害者自立支援法」が成立して1年。障害者当事者・関係者が日比谷公園に集まり、各地・現場からの声をもとに施行後の影響・実態を明らかにし「自立支援法」の出直しを求める集会が行われた。

「これは誰のための法律ですか？私たちの声と実態を映す法律に改めて下さい。」・「もしできるなら、食事も旅行も一人でしたい。障害があるからできない。できないことはできないと受け止め、自分のできる力を最大限に生かし、制度を活用して自立したい。」など、障害者当事者・子どもの親・団体代表者から生活実態が報告された。また、施設・グループホームの状況、「作業所で働くのになぜお金を払うのか！」切実な思いや問題を改善すべく、粘り強く自治体に働きかけ、独自の負担軽減を勝ち取った運動などの現状を全国から集まり報告しあった。集会后、東京駅方面に向かって歩き、「私たち抜きに、私たちのことを決めないで！」などを声にしながら、自立支援法の見直しを訴えた。厚生労働省は、4月からの実施状況を調査して、「問題なし」としているが、1万5千人という参加人数が「自立支援法」の現状を大きな問題としてとらえ、国に訴える集会となった。

運動とは、問題を抱えた（抱えさせられた）当事者が、自分の生活の確立・自立のために、全体に広げることと思っています。それは、当事者だけでなく、関係者も言葉にできない当事者の代弁者となり、また、自分たちの仕事向上・ゆたかな生活につながると思います。今回このような運動に参加することができ、自分にかえてくることが多くありました。参加にあたり援助をいただきありがとうございました。

そよ風分会 田部井

## 出直してよ！「障害者自立支援法」10.31大フォーラム報告

しおかぜ作業所 鈴木敏宏

### ①概要

全体で、約1万5千人の参加がありました。要員だけでも「JD（日本障害者協議会）」・「DPI（障害者インターナショナル）日本会議」あわせて300名以上でした。

今回はJDきょうされん愛知支部（あいされん）のメンバーとして参加しました。福祉保育労中央本部ではJD障全協の一部として参加されたようです。

みなと福祉会としては、各施設長3名、家族5名、利用者2名と私の11名の参加で、私を除く10名は日比谷公会堂の政党シンポジウムに参加しました。

当日の私は要員として、あいされん松原さん、大野さん、石黒さん（ゆたか民主労組）たちと一緒に、デモ行進の整理をしました。今回のデモ行進は国会方面と東京駅八重洲口方面と分かれての行進でした。

厚生労働省から事前に、自立支援法実施状況に関する恣意的な調査報告や、担当者から要請文受け取り拒否を通告されるなどの嫌がらせもあったそうですが、代表の方が企画課長に要請文を渡し、結果的には厚生労働省に対して大きなアピールになりました。

### ②感想

今までの運動とは大きく違い、相手にしなければならない『敵』は、どうも厚生労働省や、手をつなぐ育成会の幹部だけではないと感じます。コスト削減を要求する財務省が背後にいるのはもちろん、影に大手マスコミや、日本経団連などの経済界も存在するようで、それは非常に強力で、とても大きいです。

この問題の解決には非常に高度な政治的テクニックが問われるでしょう。JD、DPIの大きな運動により追い詰められた相手側も、誤報まがいの新聞記事や厚生労働省による恣意的な調査など、強力な対抗策を練ってきます。相手は東京大学、京都大学などを卒業したエリート、キャリア、または官僚と呼ばれる人たちです。今までの福祉保育労、きょうされん、障全協などの単独では対応が難しいかもしれません。団体、政党の枠を超えて、より大きく、より強く結束して、世論にも訴えながらみんなでさまざまな知恵を絞って対抗していきたいです。障害を持つ人々と援助をする労働者の、ありのままの生活が揺らいでいるのは間違いなく、このことを基本に据えて、たたかうことが重要と考えます。

### ③その他、気になったこと数点

- ・デモ行進の待ち時間は昨年7月集会よりも比較的スムーズと思いましたが、東京駅方面の歩く距離が意外に長かったです。障害者のなかには疲れてしまう人がいました。
- ・デモ行進をしていて、外国人の方からよく質問されました。英語力のない担当ですと、なかなか答えられませんので、英文ピラを作るなどの対応をしておいた方がいいでしょうか。
- ・あいされん大野さんより、名古屋市補助金が施設移行後も、地域生活推進事業費など、今年度と同様にもらえるのかまだ明確な回答がなく気がかりですとのことでした。以上

# 「障害者自立支援法実施後の影響などに関するアンケート」の結果報告(縮小版)

2006年11月16日

全国福祉保育労働組合東海地方本部障害協議会

愛知県下の身体、知的障害者関係施設210ヶ所を対象に上記のアンケート調査を7月に実施しました。回答施設は76施設(36.2%)でした。以下、要点を報告します。

## 回答からあきらかになった結果のポイント

○利用者負担金の増加により施設退所者は12名、退所を検討している人は14名にのぼった。

- ・ 回答率から考えると、実際はこの倍以上の人たちの退所が予想される。内訳は表1のとおりである。
- ・ 残念ながら退所した人たちの行き先については今回の調査では聞き取れなかったが、その人たちの現在の生活が心配される。
- ・ また今後も負担金を払い続けなければならないとすると、残念ながら利用の断念・縮小が更にすすむと考えざるを得ない。

表1 施設退所者数・検討者数

	退所者数	検討中
身障授産 入所	5	5
身障授産 通所	3	2
知的授産 通所	3	6
知的更生 通所	1	1
合計	12	14

○給食費の負担平均額は朝食311円、昼食548円、夕食557円と、大きな負担増になっている。

○支援費収入は、施設平均では月あたり約80万円、年額では約950万円も減収になる。

表2 年間平均予想減収額

施設種別	減収予想額(年間)
身障授産 通所	688万円
身障療護	1,087万円
知的授産 通所	800万円
知的更生 入所	1,580万円
知的更生 通所	995万円

- ・ 表2のとおり、入所施設関係では平均1000万円を超える減収が見込まれる。
- ・ 通所施設関係でも日払い制や支援費単価の引き下げにより平均800万円程度の減収予想があきらかになった。
- ・ ほとんどの回答に改善を求める声が集中した。

○通所施設においては、土曜開所を36%、祝日開所も21%の施設で行っている。

○多くの施設で旅行やレクリエーションなど施設行事の中止・縮小などがすすんでいる。

○職員数の増減では正規職員が22名の減員、臨時職員は4名の増員であった。

・04調査では常勤、非常勤あわせると+5名だったが、06調査では-18名となった。

○定期昇給は20%の施設でおこなわれているが逆にダウンした施設は41%にも及んでいる。

・04調査との比較では昇給ありが半減し、ダウンが倍になった。

表3 職員の増減と賃金の変化(2004年と2006年との比較)

	職員数の増減(全体数)			賃金の変化		
	正職増減	臨職増減	計	昇給あり	据え置き	ダウン
04調査	△39名	+44名	+5名	47.5%	23.3%	23.3%
06調査	△22名	+4名	△18名	20.0%	35.5%	41.2%

○実労働時間が増えたと回答した施設は22ヶ所であった。

一編の詩をあなたに

もっと強く願っていいのだ  
わたしたちは明石の鯛がたべたいと

もっと強く願っていいのだ  
わたしたちは幾種類ものジャムが  
いつも食卓にあるようにと

もっと強く願っていいのだ  
わたしたちは朝日の射すあかるい台所が  
ほしいと

すりきれた靴はあっさりとして  
キュッと鳴る新しい靴の感触を  
もっとしばしば味わいたいと

秋 旅に出たひとがあれば  
ウインクで送ってやればいいのだ

なぜだろう  
萎縮することが生活なのだ  
おもいこんでしまった村と町  
家々の ひさは上目づかいのまぶた

おーい 小さな時計屋さん  
猫背をのばし あなたは叫んでいいのだ  
今年もついに土用の鰯と会わなかったと

おーい 小さな釣り道具屋さん  
あなたは叫んでいいのだ  
俺はまだ伊勢の海もみていないと

女がほしければ奪うのもいいのだ  
男がほしければ奪うのもいいのだ

ああ わたしたちが  
もっともっと貪婪にならないかぎり  
なにごともしないのだ。

「もっと強く」 茨木 のり子

さむ〜い冬にオススメの  
ホットドリンク



大きめのマグカップに牛乳と粉コ  
コアを入れて混ぜます。  
電子レンジで約2分温めます。  
温まったらマシュマロを浮かべて召  
し上がれ！  
マシュマロが優しく溶けて、甘党に  
はたまらな〜い ♡♡♡



編集後記

記念すべき第1号の障害協議会ニュースはいかがでしたか？障害協議会はそれぞ  
れ持ち味の違う素材がたっぷりのたきこみごはんみたいです。食べたらかほか  
元気になるようなニュースをお届けできたら嬉しいです。ご意見やお知らせなど  
お寄せください。次号をお楽しみに！

K.